

めざす子ども像

**こ小中・地域の確かなつながりの中で****自ら考え未来を切り拓く子ども**

- ・課題解決に自ら取り組む
- ・規範意識を身につけ人権感覚を持つ
- ・未来を切り拓く力を身につける
- ・地域に貢献する

取組目標

協議会と学校の連携を密にし、地域に発信していく取組を通して、地域の方々と子どもたちが一緒に参画できる場を企画・提供する。

**【今年度の取組紹介】**

◦今年度の学習支援活動は、コロナ感染対策の為休校になったこともあり、学校が開校になった時は、学習に不安があるのか申込者は多数ありました。私たちも密にならない工夫や対策には苦慮しましたし、指導者も当初予定人員を増やしてあたりました。

しかし、生徒たちは学校生活がいつもと変わらないサイクルになりつつあると同時に、色々な行事とも重なり欠席する生徒も増えてきました。当初の半分以下に減りましたが、「テストの点数が上がった」と伝えに来る生徒や「こんな問題やった」「ここ

これで合つとるな」と声をかけてくる生徒が年々増えてきてはいます。

◦今年初めて挑戦した活動で、フラワーアレンジメント制作があります。ゲストティーチャーをお招きして、行事等でなかなか日程がとりにくいことから、希望者を募りお昼休みを利用して行いました。人数制限を持ちましたが、男子生徒の希望者も多く、少々密ではありましたが2人1組で作品を完成させました。



出来上がったものは、校内や登美中 50 周年行事の時に飾りました。

**【今年度のまとめ】**

◦地域の方々との交流は、今年度は乏しく広報活動での一方通行の交流でしかありませんでした。今年のようなコロナみたいにどうにも対応できない時の活動を考えたとき、慎重かつ貪欲的に私たちがどうあるべきかを考えさせられました。

**【来年度に向けて】**

- いつどんな時でも地域と関わり合っていける体制を整えていけるよう話し合っていきます。
- 学習支援の面で、何とかしてあげたい子をどうやって救い上げるかを色々模索していきたいです。取り組み方法は一つではないと思っています。

めざす子ども像

**こ小中・地域の確かなつながりの中で****自ら考え、未来を切り拓く子ども**

取組目標

**地域を愛し、地域に誇りを持ち、自ら学び、考え、判断し手応えのある夢を持ち、たくましく生きる子どもの育成**

## 【今年度の取組紹介】

・コロナ禍の中で始まった今年度、授業において「繋がり合い、学び合う集団」を育成するため、計画的に校内授業研修を実施し改善に努めました。また、広く地域や保護者にも報告し、理解を得ました。



・未来を担い自立できる生徒の育成を目指し、本年度も生徒自ら考え取り組む事業を行いました。具体的な内容として、リーダー育成のため生徒会が中心となってクリーン作戦や苗植えなどを実施しました。特に、プロジェクト「チューリップ」では、生徒会・保護者・地域が一体となって、チューリップ植えを行いました。また、「はるかひまわり」を校区だけに止まらず、広く地域に配布しました。

・キャリア教育の一つとしての地域の方々にお越しいただき、働くことの意義について講演をいただきました。また、事業所の休業日における環境整備事業（花壇の整備）に協力を得て取り組みました。

・学力向上プロジェクトとして昨年度国語、数学、英語の3教科で月、水、木、金の放課後、土曜日の午前中に地域在住の指導者を招き、基本でつまずく子どもたちに学習の場所を提供し基礎学力の向上に努めました。

・今年度は50周年記念式典を地域の方々にご協力いただき、当日の会場をフラワーアレンジメントにより、華やかにするなどして、執り行うことが出来ました。



## 今年度のまとめ

・今年度もコーディネーターや多くのボランティアの方々からの支援を受け、一つひとつの取組が計画的に進められました。また、一層の工夫と改善を加えていただきより充実したものになりました。特に学力向上プロジェクトも軌道にのり、少数ではありますが生徒にも定着してきました。

・広報紙の発行をはじめ、ホームページの充実を図ることで、これまで以上に協議会の取組の啓発が進みました。

## 来年度に向けて

・来年度は、これまでの取組を継続しながら、「学力向上プロジェクト」にさらなる改善を加え地域と連携して取り組む予定です。地域の方の講師を探すことが困難ですが、コーディネーターを中心に進めていきます。

・「ホテルフェスタ」など校区の幼小中が連携して取り組める事業が行えませんでした。来年度は実行することで、地域の「夏祭り」等を通して小中一貫教育の一役を担っていきます。

めざす子ども像

**こ・小・中・地域の確かなつながりの中で自ら考え、未来を切り拓く子ども**

取組目標

**地域で子どもをはぐくみ子どもで地域がつながる**

## 今年度の取組紹介

昨年度の活動を継承・発展させながら今年度も「地域で子どもをはぐくみ子どもで地域がつながる」取組を継続しました。

1学期から、子ども達が、地域の方と共に植物を栽培・収穫する活動に取り組み、収穫した植物を活かして様々な作品・製品を作ることが出来ました。

2年生は、カモミールの苗植え・花摘み・乾燥を行い、収穫したカモミールで、カモミール染めハンカチを作りました。

3年生は、藍の苗植え・葉摘み・乾燥を行い、収穫した藍から、藍染めしおりを作りました。

4年生は、千日紅の苗植え・花摘み・乾燥を行い、収穫した千日紅をリースにするためのキット作りを行いました。

5年生は、校区の秋篠川でカラムシを採集し、奈良女子大学の先生にも指導して頂きながら、その繊維を取り出してコースター作りを行いました。

また、今年度も、防災教育の一環として地域の方に講演・ご指導いただき、地域の方と触れ合い、つながりながら「守られる側から守る側への気づき」を体感し「今、自分たちが安心して毎日の生活を安全に送ることが出来ていること」に感謝することが出来ました。

3月には、お世話になった地域の方々を学校に招待し、各会場をリモートで結びながら、「感謝の気持ちを伝える集会」を実施しました。各学年が栽培・収穫したものを活かした作品・製品を、お礼として地域の方にプレゼントし、「君のかわりはだれもない（ふるさと鶴舞バージョン）」の歌も披露しました。

地域の方々と、子ども達が共に活動することで、「子ども達が地域の中でしっかりと生活し、地域とのつながりを深める」という目標に近づいているという実感をさらに強く感じる事が出来た一年となりました。



## 今年度のまとめ

過去数年の活動を踏まえ積み重ねることで、子ども達の取組はさらに発展・充実し、地域の方々の心も動かし、取組の深まりがさらに増えています。コロナ禍ではありましたが、感染対策にも留意しながら、ボランティアの方々の熱心な関わりと子ども達への温かい心配りがあり、子ども達は、それらによって、ますます成長し、ふるさと鶴舞を思う気持ちが強くなっています。学校・家庭・地域が、お互いの役割や機能を十分理解し、連携・協働することで、これからも「確かなつながりの中で自ら考え未来を切り拓く子ども」の育成をめざしていきたいと考えています。

## 来年度に向けて

これまでの活動の蓄積を財産としながら、学校の年間教育カリキュラムとの関わりをさらに深め、地域の方々と共に協働して活動を継続することで、「地域で子どもをはぐくみ子どもで地域がつながる」鶴舞を創りあげていきたいと考えています。共に歩んで下っている保護者・地域・関係団体の皆様に、深く感謝しております。今後共、鶴舞の子ども達へのご支援ご協力、宜しく願いいたします。

めざす子ども像

## こ小中・地域の確かなつながりの中で 自ら考え、未来を切り拓く子ども

取組目標

～児童が学び、考え、行動するやさしくたくましい子どもの育成～

### 【今年度の取組紹介】

今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、地域の方の協力をほぼご遠慮いただいて、活動を自粛しました。

その中でも感染者が比較的少ない時期に地域の方と児童と共に環境整備として、校舎内にある雑草の借り入れを行ったり、例年行っているブッカーかけを感染症対策として、ボランティアの方に分散して2回協力していただきました。

そんな中、1年生の「命の学習」は、講師の先生（医師）たちと連絡を密に取り合いながら、授業を行いました。

まず、例年体育館で行っていましたが、密にならない事を考えて各教室で行うことにしました。

また、動物を学校に入れずに児童に命の大切さを学ぶ方法として、パワーポイントなどの視聴覚教材を使用しました。また講師の人数を最小限にし、ボランティアさんの参加は遠慮していただきました。



### 【今年度のまとめ】

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防を最優先にし、活動は自粛しました。

### 【来年度に向けて】

来年度は情勢を鑑み、実施時期を考えながら、少しずつ以前の活動に戻したいと考えております。



めざす子ども像

## こ小中・地域のつながりの中で自ら考え、 未来を切り拓く子ども

取組目標

子どもたちの興味・関心に基づいた直接的・具体的な体験活動の実施  
子どもが主体的に活動できる環境構成

### 【地域とのつながり】

ゲストティーチャーを招いて、野菜やお花の栽培を体験することができました。特に、コロナ禍での休園期間を利用して、親子で玉ねぎの収穫を体験することができ、子どもたちは久しぶりにみんなと会えて大喜びでした。また、地域の方の協力を得て、こども園で玉ねぎや花の苗のお店屋さんごっこを経験しました。おすすめのお花を説明したり、お客さんを案内して品物を選んでもらえて、自信をつけることができました。



### 【絞染めに挑戦】

地域の方の指導をいただき、自分たちで蒔いて育てた花を収穫し、花びら染めに挑戦しました。きれいなピンク色にお喜びでした。また、運動参観で着るシャツを玉ねぎで絞り染めに挑戦しました。ビー玉や輪ゴムを使って、絞り、出てきた模様は、歓声が上がっていました。運動参観では染め上がったシャツを着て、元気よくフラッグを振る姿から、子どもたち一人ひとりが自信に満ちた様子が見えられました。

### 【今年度のまとめ】

取組紹介のほかにも、地域の方々の支援を受け、子どもたちが初めて挑戦した栽培活動や染め物活動を経験することによって、自然の物に興味を持ち、探求する心が育ってきました。また、サッカーや英語で遊ぼう、わらべ歌、また、木工教室体験をさせていただきました。これまで積み上げてきた取組をさらに充実させたことにより、子どもたちの興味・関心が引き出され、自ら学ぼうとする意欲や心情、態度がさらに育ってきました。

### 【来年度に向けて】

今年はコロナ禍で幼小連携ができなかったため、地域の方のご協力を得て、幼小連携の取組の強化とともに、地域の方々と交流していきます。また、広い園庭で体力づくりにも取り組み、園庭で遊びの中で、子どもたちが自ら学び、考え、行動するやさしくたくましい子どもの育成をめざします。